

平成24年
1月15日号

子どもと未来の柏のために

放射線対策 NEWS

ニュース

NO.001

健康相談窓口を開設

保健所では、放射線による健康への影響について相談を受け付ける窓口を開設しました。心配なことなど、気軽に相談してください。

☎健康相談窓口 ☎7167-1255 (保健所総務企画課内)

食の安全・安心講演会 「食品を通じた放射能の影響」

時 2月10日(金)午後2時～3時40分

所 ウェルネス柏

対 市内在住・在勤のかた、先着100人

内 放射能で汚染された飲食物が健康に及ぼす影響について、具体的な数値を用いて分かりやすく解説します

講 聖徳大学人間栄養学部・林徹教授

申 1月16日(月)午前9時から、生活衛生課へ電話で

☎保健所生活衛生課 ☎7167-1259

学校・保育園給食の1食丸ごと検査を開始

これまで行ってきた給食に使用する主な食材の放射性物質検査に加え、1月(3学期)から、実際に提供した給食の1食分をまとめてミキサーにかけ、放射性物質を測定する検査を開始します。

対象 / 市立小・中学校全校(61校)・認可保育園全園(38園)・キッズルーム

方法 / 実際に提供した給食1週間分(原則5日分)をまとめて測定

検査回数 / 1～3月(3学期)に自校方式の学校(50校)・認可保育園(38園)・キッズルームは各施設1回、給食センター方式の学校(11校)は毎週実施

検査機関 / 中外テクノス(株) 関東環境技術センター

検査結果の公表 / 学校・園を通じて保護者のかたに配布するほか、市のホームページに随時掲載

☎小・中学校=学校保健課 ☎7191-7376

☎保育園=保育課 ☎7167-1137

☎キッズルーム=キッズルーム担当室 ☎7128-2224

側溝清掃で出た土砂には他のものを混ぜないで

側溝清掃で出た土砂は、道路サービス事務所で収集していますが、最近これら土砂の中に、側溝から生じた以外のもの(庭の土や草木等)が多く含まれるようになってきました。

側溝から出た土砂以外のものが含まれていた場合は回収できませんので、皆様のご協力をお願いいたします。

☎道路サービス事務所 ☎7131-6436

ごみはこれまでどおり出すことができます

市では、柏地域で排出されたごみを、南北2つの清掃工場(北部クリーンセンター・南部クリーンセンター)で焼却していますが、1月5日から、南部クリーンセンターでの焼却を停止し、ごみを北部クリーンセンターに移送して焼却しています。これは、焼却後に出る放射性物質が含まれた焼却灰の保管量の増加を抑えるために取った措置です。

これまでどおり、ごみを出していただくことはできますが、焼却灰の放射線を少しでも低減させるため、可燃ごみは草木・枝・葉を分別して出してください。皆様のご協力をお願いします。

なお、沼南地域で排出されたごみを焼却するクリーンセンターしらすぎでは、通常どおりの処理を行っています。

■焼却灰保管量(12月28日現在)

施設名	保管量
北部クリーンセンター	180トン
南部クリーンセンター	196トン

☎北部クリーンセンター ☎7131-7900

☎南部クリーンセンター ☎7170-7080

市有地(根戸)の高濃度放射線量箇所の最終調査報告が環境省から公表されました

根戸の市有地で高濃度放射線量の箇所(以下、高線量箇所)が確認されたことについて、12月28日に環境省から最終調査報告書が公表されました。

調査の結果、高線量箇所の土壌は他の地域から持ち込まれたものではなく、当該箇所への雨水流入経路等から、原子力発電所の事故由来の放射性セシウムを含んだ大量の雨水排水が側溝側面の破損部分から浸透し、放射性セシウムが濃集(蓄積)した可能性が高いと推定されました。今後の除染作業は、国と協議しながら行っていきます。

調査内容 / ▶集水域における放射性セシウムの分布等調査 ▶高線量箇所における土壌中の放射性セシウム等の分布及び土質調査 ▶高線量箇所の下流に位置する河川(大堀川)における底質等の調査 ▶高線量箇所から大堀川の間排水路における堆積土壌等の調査
◎詳しい調査結果については、環境省か市のホームページでご確認ください

☎資産管理課 ☎7167-1114

放射線量マップを公開しました

市のホームページを中心に、これまで表形式で公表してきた空間放射線量の測定結果を、インターネット上の地図(グーグルマップ)に落とし込み、公開しています。

市の施設(小・中・高等学校や保育園等)や公園、道路、排水施設などを掲載しています。今後も測定結果は随時更新してまいります。



☎放射線対策室 ☎7168-1036

放射性物質の検査結果

■市内の農産物

検査期間 / 12月1日～28日(検査日はいずれか1日)

地域	品目	放射性セシウム	
		134	137
北部	カブ・ブロッコリー・ホウレン草・ニンジン・ネギ・大根・小松菜・山東菜・白菜・里芋	定量下限値未満	
中央	カブ・ホウレン草・白菜・キャベツ・大根		
南部	野沢菜・ヤーコン・大根・イチゴ・サニーレタス・アイスプラント		
手賀沼周辺	白菜・ター菜・ブロッコリー・カブ・キャベツ・ルッコラ・イチゴ・ニンジン・トマト・菜の花・大根・京菜・リーフレタス		

※定量下限値は、測定試料の密度等の条件によって異なります。市の農産物検査の場合、セシウム134が15～30ベクレル/キログラム程度、セシウム137が12～25ベクレル/キログラム程度になります。詳しくは市のホームページをご覧ください

■給食食材

検査日 / 12月2日・15日のいずれか

種類・産地	放射性ヨウ素131	放射性セシウム	
		134	137
牛乳(千葉・北海道・岩手・山形)、マイタケ(静岡)、リンゴ(長野)、助宗タラ(北海道)、ブリ(青森)		定量下限値未満	

※定量下限値は、それぞれ10ベクレル/キログラム(飲用牛乳は1ベクレル/キログラム)

定量下限値とは

化学物質を測定することを「定量」といいます。「定量下限値」とは、ある分析方法を用いて化学物質を測定するとき、その方法で目的物質の量を証明できる最小値のことをいいます。定量下限値未満の数値は、分析値としての信頼性を有していないため、市のホームページでは検査結果に「検出せず」と表記していますが、その意味は「この分析方法で証明できる範囲には、その存在が認められなかった」という結果を示しています

☎市内の農産物=農政課 ☎7167-1143

☎給食食材=学校保健課 ☎7191-7376



そこで、「放射線キホンのキ」では、放射線に関する基本的な情報を皆さんにお知らせします。放射線に対する理解を深めるための足がかりになればと考えています。

☎放射線対策室 ☎7168-1036

第1回 「放射線」という存在

放射線は、太古の昔から自然界(宇宙・大地・空気・食べ物に関連)に存在しています。まずは宇宙。およそ137億年前の宇宙誕生時から、宇宙線が地球に降り注いでいます。次に大地。岩石の中などに放射線を出すもの(放射性物質)が含まれており、放射線の量はその岩石に含まれる放射性物質の量によって変わりますが、大地からも放射線が出ています。そして空気。主にラドン(岩石から微量に放出される希ガス。ラドン222やラドン220など)という放射性物質が含まれており、このラドンは世界中の大地から湧き出ています。最後は食べ物。主にカリウム40という放射性物質が含まれており、自然界にあるカリウムのうち、約0.012パーセントがカリウム40です。カリウムは、植物の三大栄養素の一つであり、人間の体にも欠かせない栄養素として、私たちは野菜などから体内に取り込んでいます。

自然界に常に存在している放射線ですが、今回の事故のような災害によって浴びる放射線は、誰もが望んで受けるものではありません。その意味で、自然界から受けるものと全く同一に考えることは難しいでしょう。「量」の感覚を正しく持ちつつ、線量の低減に向けた努力が重要となります。
(東京大学環境安全本部・飯本武志准教授監修)